

特定非営利活動法人 ときがわ山里文化研究所



収穫祭で地域交流

所 在：ときがわ町

構成員：300名

平成17年に、ときがわ町（旧都幾川村地区）を拠点とする特定非営利活動法人を設立しました。

その後一貫して、山間地と都市市民の交流を通して豊かな山里の自然環境を守り、伝統文化の保存継承のための多彩な活動を展開し、山間地域の環境保全、元気回復に取り組んでいます。

— 山里の美しい自然と文化を守る — 私たちの挑戦



受賞の主な取組

- ・ 間伐した竹材を材料に、伝統の土窯で竹炭・竹酢液を作る自然環境サイクル活動。
- ・ 遊休農地の再生、雑穀や無農薬野菜栽培と地域の草刈り支援活動。
- ・ 都幾川源流域における約2ヘクタールに渡る「都幾川源流の森づくり」に向け、大東文化大学との協働で、トチノキ・コナラなどの広葉樹800本を植栽。
- ・ 「ときがわ山の学校」における子ども達の自然体験学習。
- ・ 地域と都市市民の交流による地域の活性化と伝承文化継承。
- ・ 山里の自然環境と文化を継承する事業活動を広く情報発信。

取組をはじめたきっかけ

現在、全国で山村の過疎化が進み、山里の文化は消滅の危機にあります。私たちは、埼玉の一山村であるときがわ町大野地域を活動の拠点にして、山里の自然や生活に関心のある人たちとともに様々な伝承文化を学び、体験し、山間地域の環境保全、伝承文化の継承、地域の元気回復を図りたいとの想いを共有して活動に取り組んでいます。

これからの展望

活動を開始して7年が経過、現在年間を通して多彩な事業を展開し、多くの子どもたちや学生、山間地の住民、都市市民が活動に参加しています。過疎化が進む山間地域の豊かな自然と文化を学び体感し、保存継承する活動にさらに多くの方が参加できるよう、積極的な情報発信を行っていきます。また、地域の活性化を図るため地域の特性を生かした山間ビジネスにも取り組んでいきます。



山の学校・森を学ぶ



都幾川源流の森づくり

受賞して



私たちの活動を評価していただき誠にありがとうございます。受賞は会員300名の喜びであると同時に活動の拠点であるときがわ町の多くの皆さんにとっても喜びであると思います。受賞を契機に、さらに多くの子ども達、学生、都市市民の方に山里の豊かな自然や文化を学び、体験し、継承発展させる活動に参加していただけるような先導的な事業活動を展開していきたいと思っております。